4 適期収穫および適切な乾燥調整を徹底しましょう。
6 今月の栽培管理について確認しましょう！
8 農協・農事組合懇談会 意見と回答
12 トピックス
13 人間ドック
14 来月のカレンダー

大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

特集：第2回JAひがしかわ組合員ふれあい祭り

みずと くらす。 JAひがしかわ

10 2023
vol.602

スーパーボールすくい

石上久美子による
歌謡ショー

何ン田 研二＆
何ン田 ユーキョン
ものまねショー

司会・進行　左より、齋藤洋輝さん、
若松美帆子さん

農産物販売

餅まき

アームレスリング大会

飲食ブース
トマトチキンカレー、焼鳥他

最新機械展示

プロレス

カラオケ大会

鏡開

第２回
JAひがしかわ
組合員ふれあい祭り

開会宣言

8月27日（日）、JA本部事務所にて、組合員の皆さまへ日頃の感謝と御礼を込め、第2回組合員ふれあい祭りが開催されました。会場では、アームレスリングやカラオケ大会、様々なステージイベントを通し、組合員の皆さまと交流を深めることができました。また、地域住民へ向け、事業紹介や農産物販売等を通し、JA事業内容の理解と事業利用の推進を行いました。JAひがしかわは、今後も地域のみなさまと共に地域社会の発展や活性化を目指します。

事業紹介

組合員抽選会

適期収穫および適切な乾燥調整を徹底しましょう。

今年度は、生育期間中に高温が続き白未熟粒の発生が多くみられました。また、台風による強風の影響もあり倒伏被害が多発し収量及び品質に大きな影響を及ぼしました。次年度へ向けて圃場の改善及び今年度の反省点を確認しましょう。

稲作

1. 水田の乾燥を促進させましょう

〇乾田化によるメリット

・地温が上昇し、根張りが向上する
・乾土効果により、地力窒素が早く発現し初期生育促進及び肥料の効率化に繋がる
・水田を傷めず、春先の機械作業が容易になる

〇稲わらを搬出しましょう

・融雪後圃場が乾燥しやすくなる
・ワキを軽減する
・低たんぱく米の生産に繋がる

稲わらを搬出する際は、地力低下を防ぐため3年に1度を目安に堆肥化して圃場に還元することが必要となります。また、排水が良好な圃場に限り秋鋤き込みが可能となります。秋鋤き込みする際は、収穫後なるべく早く実施しましょう。※湿田型土壌は生わらの鋤き込みは厳禁

2. 被害粒対策（白未熟粒）

今年度、高温等の影響により白未熟粒の発生が多くなった一方、胴割れ粒の被害は少ない状況となりました。被害粒（白未熟粒）の対策を確認し、高品質米生産へ努めましょう。

【白未熟粒の発生要因】

・米の胚乳内のデンプン蓄積の異常によって引き起こされ、要因としては登熟期の高温や低日照で発生しやすくなります。

【対策】

〇水管理
・夜温が高くなる場合、夜間の水温を下げるために夕方に入水する。

〇適期収穫
・刈り取り適期判定に基づいた収穫を実施する。

〇土づくり
・堆肥・ケイ酸の補給や深耕を行い、健全な根からの十分な吸水を促す。

3. 次年度に向けての圃場準備を早めに行いましょう

表面水のぬけの悪い圃場やワキにより稲の生育が抑制される圃場では、溝切や心土破砕を実施しましょう。

〇溝切
・溝は必ず排水溝につなぎ、表面水を圃場外に流し乾田化を促しましょう。

〇心土破砕の施工
・硬盤層を壊すことで、根域の拡大や透排水性の向上につながります。また、落水後の土壌水分保持や暗渠の効果を高める効果があります。

＜心土破砕のポイント＞

圃場が十分に乾いている時に速度を落としてゆっくり施工しましょう。

4. 次年度に向けての圃場準備を早めに行いましょう

【土壌診断の受付について】

高品質な農産物づくりには、土壌診断により現状の土壌状態を正確に把握し診断結果に応じた施肥改善を行なうことが必要です。来年度作付予定の作物は土壌診断を必ず行いましょう。

①分析項目

水稲育苗・水田・施設野菜・露地野菜・畑作

②土壌サンプリング方法

作物収穫後、耕起前に採取を行ないます。分析予定の圃場一筆から作土の深さ（約10㎝）3～5ヶ所で同一量採土し、分析土壌とします。

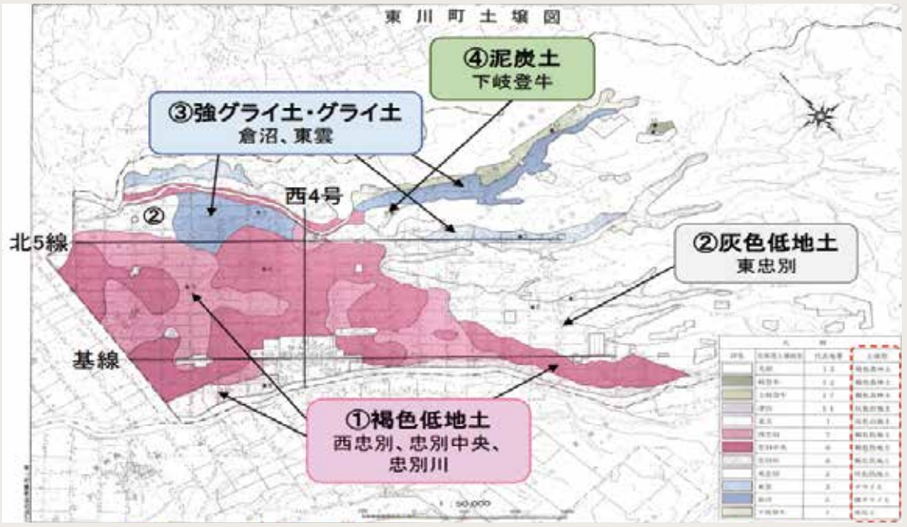
③提出方法

袋によく乾燥させた約500gの土を入れ、氏名・圃場番号・作付品目・面積（坪または反）を必ず記入の上、アグリサポートセンターまでお持ちください。

【基盤整備後の施肥設計】

①土壌型を確認
・東川町の水田は4つに分類されます。東川町の土壌マップにて各圃場の土壌型を確認しましょう。

図１　土壌マップ（施肥の手引きより）



②培養窒素量を確認（※褐色低地土のみ）
・土壌診断を実施し、圃場の培養窒素量を確認しましょう。培養窒素量に応じて施肥設計が異なるため、地力に見合った施肥設計を行いましょう。

今月の栽培管理について確認しましょう！

先月は、降雨が続き気温も低下したことにより病害虫被害が多発しました。今月も気温および地温の低下とともに日照時間も減少します。自身が栽培している作物の適正温度を確認し、ハウスは早期に閉め夜間は保温に努めるなど対策をしましょう。また、栽培の終了した圃場は作物残渣やマルチの片付け・処分を速やかに行いましょう。

野菜

1．品目に応じた栽培管理を確認しましょう。

＜施設野菜＞

◆トマト

- 降雨や夜温の低下により、灰色かび病やすすかび病の発生が散見されております。今後も過湿になりやすいため、ハウス内換気や必要に応じて防除を行いましょう。また、低温により果皮が硬化し裂果が増加するため、夜温を十分に確保しましょう。（12℃以上）

＜すすかび病＞

◆ピーマン

- トマト同様、今月は病気が多発しやすい傾向にあります。ピーマンはヘタ腐れの発生も懸念されるため防除を行い、発生を防ぎましょう。また、低温の影響から受精不良となり「変形果」などの生理障害になりやすいため、適切な温度管理を実施しましょう。

表１　果菜類温度管理目安

品　目	定植地温	生育温度	
		日　中	夜　間
トマト	１８℃以上	２０～２５℃	１２～１５℃
ピーマン	１８℃以上	２３～３０℃	１５～１８℃

◆しばれほうれん草

- 収穫サイズ（目標：葉長20～22cm以上、2～4株200g程度）まで生育した段階で、ハウス側面を開放し、２週間程寒さにあて、糖度８度を目安に収穫します。開放期間が長すぎると古い葉の一部が枯れてくるので注意が必要です。また、ほうれん草の芯部に寄生し被害を及ぼす「ホウレンソウケナガコナダニ」の発生にも十分注意しましょう。（12℃以上）

＜ホウレンソウケナガコナダニ＞

＜露地野菜＞

◆露地長葱

- 気温の低下に伴い、圃場水分が乾きにくくなり湿度が高い状態が続きやすいため、「べと病」や「さび病」などの病害が多発する傾向にあります。薬剤防除や可能な限り早期に収穫を行いましょう。

＜べと病＞

◆軟白みつば

9月は降水量が多く、夜温も低下したことにより「べと病」・「灰色かび病」の発生が多発しております。圃場での薬剤防除に努めハウス内へ病原菌の持ち込みを防ぎましょう。薬剤散布と同時に葉面散布剤を施用し養分を転流させ根の充実を図りましょう。

＜さび病＞

2．次年度の作付けに向けて

①土壌診断の実施

品質の良い野菜栽培のために、土壌診断により現状の土壌状態を正確に把握し、施肥改善を行ないましょう。

②堆肥の投入

次年度の作付けに向け堆肥を投入し、「土づくり」をしっかり行ないましょう。

③透排水性の改善

降雨により滞水しやすい圃場では、暗渠の実施や補修、サブソイラやプラソイラのなどによる心土破砕を実施して透排水性改善を行ないましょう。

④土壌病害対策の検討

今年度、病気が多発したため、圃場に病原菌が多く残ることが予想されます。連作障害対策や病原菌の密度を減らすためにも土壌消毒や定期的な輪作の実施などの土壌病害対策を考えましょう。

＜サブソイラ＞

＜ハウス土壌消毒＞

農協・農事組合懇談会 意見と回答

（実施日…令和5年8月8日（火）・9日（水）

貴重なご意見ありがとうございました。今後の事業運営に反映させて参ります。

営農指導課

【意見】「ひがしかわライスターミナル」の稼働により出る副産物の利用方法や販売を考えているのか。

【回答】施設から出る副産物の籾殻や米ぬかを堆肥原料へ再利用する計画を補助事業を活用して、令和7年度を目途に堆肥場の建設を進めています。また、直接販売することも計画し取り進めています。

【意見】今後、「ひがしかわライスターミナル」が稼働することで東川米のブランド力が高くなり、ふるさと納税として東川米の取扱量も多くなると予想される。その財源がどのように一般の方に還元されるのか教えて欲しい。

【回答】東川町に対する、ふるさと納税制度のうち、返礼品「東川米」を選択される割合は8割程度となっており、今後行政と連携のうえ更なる取扱数量の拡大を図って参ります。なお、ふるさと納税により寄付された財源は、生活支援の充実や農業振興等、様々な施策に活用されています。

【意見】「ひがしかわライスターミナル」建設に関して資材高騰など環境が変化しているが当初の予算と比べて増減はあったのか。

【回答】第一期の施工業者の入札金額は、16.5億円と主体工事は概ね予定通りであり、第二期工事の入札（R6年4月頃）金額で確定いたします。また、用地造成工事及び検査棟建設については、追加施工となりますが、東川町からのご支援によりJAの負担額は当初計画通りとなります。詳しくは、次回の東川米関連施設建設委員会後にお知らせします。

【意見】「ひがしかわライスターミナル」への集出荷作業について、個人の乾燥施設でもライン変更が必要になると思うが助成は考えているのか。

【回答】今後、農業機械メーカーと連携のうえ、籾出荷に必要なライン改造について施設利用予定者全件を対象に見積金額の取得を行います。なお、現時点ではJAからの直接助成は検討しておりませんが、利用可能な補助事業等の調査を実施して参ります。

【意見】新規就農者の定義を教えて頂きたい。また、新規就農者に対し、農協はどのような支援をされているのか。

【回答】新規就農者（後継者、新規参入）は、市町村の認定以外の資格定義は定められておりませんが、営農準備に係る予算支援が設定されています。また、新規参入就農者に対しては研修（短期・長期・実践）を経て、健全で安定した経営に向けた就農を支援する体制が整備されています。

【意見】TAC巡回をしているが親世代のみではなく、次世代へのアプローチもお願いしたい。

【回答】今後の東川農業を担う世代との情報交換は非常に重要と考えておりますので、TACによるサポート対象範囲を経営者のみならず担い手まで広げ、若手生産者や新規就農者が相談しやすい環境を整えて対応します。

【意見】生産履歴システムやJAコネクトを利用していない組合員がおり、TAC巡回等で指導して欲しい。

【回答】生産履歴システム及びJAコネクトは通信料以外無料となっておりますので、未利用の方の登録についてはTAC巡回時に登録手続きを行って参ります。

【意見】生産履歴システムについて、スマホ等で入力出来るようになっているが、入力画面をわかりやすいように改善して欲しい。また、肥料等の取りまとめなどを反映して欲しい。

【回答】昨年度より生産履歴システムをJA独自に運用しておりますが、今後も皆様のご意見を反映させ、ご利用頂きやすいように改善していきます。

【意見】農業機械リースでレーザーレベラーなどオペレーターが特定されている状況にあるため、違う人材でも利用できるようにしてもらいたい。

【回答】東川町コントラクター部会でオペレーターを依頼し農業支援をしていますが、これからもご利用者のご要望をお聞きしながら検討して参ります。

営農指導課・（株）東川農業振興公社

【意見】次期農業振興計画において、農業振興公社で「水稲の作業支援」とあるが、現状の野菜作業と並行して実施するのか。

【回答】今後の東川農業を発展させるためには、如何に投資抑制を図りながら規模拡大できるかが重要と考えております。規模拡大を希望する組合員へ水稲育苗や田植作業等の支援メニューに加え、作業オペレーターの育成を図ります。また、これまでの野菜作業支援については、収入実態や需要調査を行いながら実施して参ります。

【意見】派遣事業で会社ごとに休憩時間が異なっているので、事前の派遣会社との打合せ前に生産者の意見を集約し提案して欲しい。

【回答】現在7社の派遣会社を利用しています。会社との派遣業務事前打ち合わせ前に、生産者の意見要望を聴き取り労働条件等を統一して参ります。

【意見】春作業など期限が決まっている為、作業支援でのオペレーターは複数名必要。その為、人材育成をしっかり計画してほしい。

【回答】作業支援については、利用者のご意見を踏まえながら対応して参ります。また、オペレーターの人材育成も必要と考えていますので対応についても検討して参ります。

営農指導課・米穀課

【意見】「ひがしかわライスターミナル」建設後、青年部活動での屑米集荷は「ゆめぴりか」「ななつぼし」以外になると思うが、今後どのように考えているのか。

【回答】「ひがしかわライスターミナル」稼働後の青年部屑米集荷活動の縮小が想定されることから、新たな青年部活動事業について青年部と協議、提案をして参ります。

【意見】ライスレジン原料で「特定米穀」なども利用して頂く事は可能なのか。また、ライスレジン製の箸やスプーン等を食育の教育活動として広げていく事を検討して欲しい。

【回答】現在、ライスレジン製品の製造元と連携のうえ、「品種」や「規格」による商品への適合調査を行っています。合わせて特定米穀の適性についても調査を実施いたします。また、ゼロカーボン達成に向けた町内指定ゴミ袋の取扱いをはじめ、スプーンや箸など食育活動の一環とした商品の普及推進を行って参ります。

【意見】地産地消を推奨しているが、町民の中で東川米を食べていない方もいると聞いている。町民が東川米を多く消費してもらう対応を検討して欲しい。

【意見】地産地消を目標と掲げており、現状では東川町民でも東川米を食していない方が多い。精米工場完成で、より町民に買いやすい状況を検討して欲しい。

【回答】JAでは、来年からの精米工場の運営に合わせ、町内等への宅配事業（東川農産物）を計画しています。また、学校給食・町内福祉施設等での利用や直売所（アンテナショップ）の設置を検討し、町民の皆様への販売を強化して参ります。

米穀課

【意見】金賞健康米の精米過程や商品の特徴を教えて欲しい。

【回答】金賞健康米は、微量のヌカ層を残す特殊な精米方式により製造され、一般の白米と比べ「食物繊維」や「ビタミンB」などの栄養価を多く含む商品となります。

【意見】「ひがしかわライスターミナル」建設後、「玄米センター」利用はどのように考えているのか。

【回答】事前のアンケート調査では、全体量の90％以上が「ひがしかわライスターミナル」を利用するとのご回答を頂いており、「玄米センター」の利用は極端に減少する事が想定されますので、具体的な運用方法は今後、検討して参ります。

【意見】「玄米センター」への出荷の際の黄色フレコンについて全員に配布出来るようにルールを徹底してほしい。

【回答】「玄米センター」出荷用フレコンの枚数には限りがあることから、出荷数量（上限）や出荷予約日に合わ

せた引取ルールについて出荷説明会にて啓発いたします。

青果課

【意見】昨年より青果物の単価が高騰し、収入は増加しているが、それ以上に経費が増加しており実質収支は減少している。また、近日の悪天候の影響により、防除作業が難しく、今後の収量減少が懸念され更なる収支減少が見込まれる為、支援の検討を願いたい。

【回答】今年度の青果物の単価については、各品目において概ね高値で推移しており、秋以降についても相対販売を中心に有利販売に努めとともに、流通コスト等の経費削減も目指して参ります。また、収入減少対策については、国の制度として加入推奨しています収入保険制度を北海道農業共済組合と連携して対応します。

青果課・経理課

【意見】青果物の出荷に対する精算金が遅れたが、今年度は、共選利用料の値上げ、出荷時間の短縮等、生産者負担が大きくなっている中での精算金の遅れである。精算金の遅れにより、クミカン残高がマイナスとなり、マイナスに対する利息は生産者負担となるのはおかしいと思うので改善を願います。

【意見】精算金の遅れは何故毎年発生するのか。また、次回の懇談会時に改善策の報告を願いたい。

【回答】出荷最盛期の青果経理の遅れについては、経理課でも休日交代等で対応し遅延がないように現在も取り進めています。ご意見の内容等を青果課や経理課内で販売方法や経理方法等の検討をし研究会との協議を踏まえ、次年度以降の改善策を12月までに研究会にご提案いたします。

資材課

【意見】水稲防除でドローンを使用しているが、ヘルメット着用や作業員の最低2人の配置など最低限のルールを守るよう検討してほしい。

【回答】本年度も東川町病害虫防除実施協議会からJAコネクト等を通じ国が定める守るべき空中散布時のルール、注意事項を生産者へ発信しています。作業基準を守らない場合、罰則規定もあることから、今後も防除の啓蒙活動には積極的に実践して参ります。

機械燃料課

【意見】大型水田になり作業効率を上げるため、RTK（リアルタイムキネマティック）自動操舵を使用しているが、状況により電波を受信できないことがある為、東川町内にも将来、基地局を設置してほしい。

【回答】現在、東川町内は旭正地区に設置しているRTK基地局を利用し運用しています。スマートフォン及びタブレットへのインターネット回線が可能であれば、RTKは利用出来ます。受信等の不具合がある箇所については原因を調査し、早急に対応いたします。

国営推進センター

【意見】国営工事終了後の圃場にて整備不良圃場が多い。整備不良により作付不可の面積が多々ある。整備不良圃場に対し職員が現場に来て確認することが少ないと思われるし、生産者に寄り添った対応を願いたい。

【回答】耕作に伴う圃場の支障不具合は受益者より意見要望等が都度寄せられています。国営推進センター職員が受益者の意見要望を聴き取り、直接現地確認を行いながら耕作に支障がないよう再整備等の要請を行い問題解決を図っていきます。

【意見】基盤整備事業で礫の含有量により自己負担が高額になる状況があり、助成などの改善をお願いしたい。

【回答】徐礫作業に関する助成措置は、含礫基準に基づき助成を行っていますが、更なる徐礫作業コストの負担軽減要望があることを踏まえ、助成措置を国に要請するとともに、東川町農業振興公社の機械作業メニュー等による作業支援対策も提案して参ります。

経理課

【意見】インボイス制度について教えて頂きたい。

【回答】インボイス制度については、ご本人が税務署でインボイス番号を取得する等の事務手続きが必要となります。経理課が相談窓口としてインボイス制度の説明や番号取得の説明等をしていますのでお気軽にご相談ください。

管理課

【意見】皇室献上米関連について、JAひがしかわの被害額はどれほどなのか。今後の対応策を報告して欲しい。

【回答】皇室献上に係る被害額については、直接の被害はないと判断しています。本件の全容解明等進展がありましたら、皆様には再発防止策を含めご報告をいたします。

【意見】旧整備工場の利用について、色々な団体の利用がある為、日程調整などをしてほしい。また、冬季間も使用する為、暖房を設置してもらいたい。

【回答】今年度より旧整備工場2階を改修し会議や休憩所として利用して頂いています。今後、各団体の利用予定があるときは日程調整をして運用いたします。また、暖房についてはJAで設置します。

【意見】正組合員の資格要件について教えて欲しい。

【回答】正組合員の資格要件は、①0.5ヘクタール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地または住所がこの組合の地区内にある方。②1年のうち90日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にある方。③農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、つ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にある方。が資格要件となっております。

【意見】「てっぺんまつり」と「ふれあい祭り」との違いを教えて欲しい。「てっぺんまつり」は町内外で多くの来場があり、認知度も高かったイメージがある。

【回答】1回目の「ふれあい祭り」は、正組合員とその家族を対象にてクリッ農業倉庫前で開催いたしました。今回は2回目となり、正・准組合員やそのご家族、組合員加入予定者の皆様にご案内させて頂き、本部事務所裏で開催いたします。多くの組合員役職員が交流を深める場にしたいと考えております。

【意見】コロナ禍で職員との接点が希薄になっており、「ふれあい祭り」の他にも積極的に交流できる場を用意してもらいたい。

【回答】「ふれあい祭り」以外の交流機会として、各生産部会との交流会・講習会・研究会事業・懇談会等も行っていますので今後も組合員の皆様のご参加をお願いいたします。

【意見】職員がやりがいのある職場環境を期待している。

【回答】職員が、仕事にやりがいを感じる活気のある、職場環境作りに取り組んで参ります。また、組合員の皆様も職員の育成にもご協力をお願い致します。

管理課・営農指導課

【意見】若手職員が増えて顔と名前が一致しない事があり、職員ネームプレートを着用してほしい。また、広報誌等で職員紹介を行ってほしい。

【回答】職員には、ネームプレートの着用を徹底いたします。広報誌で各課職員の紹介も掲載できるように検討するとともに、営農部署以外の職員が組合員訪問する機会を増やす活動も検討いたします。

全部署

【意見】JAが中心となり生産者と一体感のある産地を目指して頂きたい。

【回答】生産者の意見要望を汲み取りながら、協同組合運動を組合員と一体となり進めていきたいと思いますので、今後も協同組合運動へのご理解ご協力をお願い致します。

JA HIGASHIKAWA Topics

上川・ひがしかわライスレジン連携協力推進会議及び視察研修

8月22日（火）～24日（木）、熊本県にてライスレジン製造、製品の地元利用を促進する上川・ひがしかわライスレジン連携協力推進会議の開催及び国産バイオマスプラスチック原料の製造・販売を行うバイオマスレジン熊本、ライスレジンの原料となる資源米を生産するモスファーム等の5社の視察を行いました。近年、「SDGs」への取組が注目され、ファストフード店のテイクアウト用のフォークやスプーン、乳児用のマットレスやおもちゃ等にも、バイオマスレジンが注目され商品が開発されています。ライスレジン製品の製造現場を視察し、意見交換を通し、今後、益々バイオマスプラスチック化が進む可能性を改めて感じられました。今後、当ＪＡも関係機関と連携した中で、原料生産から製品利用まで一貫して行う様々な取組を展開していきます。

令和5年度東川米初検査式

9月4日（月）、東川米米穀出荷施設（玄米センター）にて令和5年産東川米初検査式が開催されました。検査した高橋農園株式会社の「ゆめびりか」は、農産物検査員による検査の結果、一等米タンパク値7.4%以下の東川米品位仕分基準の“ファイネスト”と判定されました。初検査式終了後、新米塩むすびが振舞われ「甘みがあって美味しい」と絶賛されました。

JAグループ北海道「防災の日」イベントを開催

9月4日（月）、キトウシの森 きとろんと西4号JAひがしかわ倉庫にて、JAグループ北海道が定める「防災の日」防災取組状況報告会、現地調査を実施いたしました。現地調査では、JA北海道中央会樽井会長が、温泉施設であり地域拠点でもある「キトウシの森 きとろん」の貯水槽や太陽光発電などを視察し、東川町及びJAひがしかわより、災害対応への取組について説明しました。もしもの災害時に備え、被害を最小限にとどめるため防災対策を心がけましょう。

JA事務所裏倉庫の壁画が「ひがしかわアグリ2050宣言」をイメージするデザインとなりました。

現在、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）や農林水産省が定めた「みどりの食料システム戦略」を踏襲し、2050年までに環境にやさしい持続可能な東川農業を進めることを目標に、策定委員会を設置し、東川農業の長期計画「ひがしかわアグリ2050ビジョン」の作成を進めています。策定委員には行政や農業の関係機関、各農事組合・生産組織の代表等で構成され、会長には菊地町長、副会長には牧組合長が選任されました。ひがしかわアグリ2050ビジョンの基本目標は「持続可能な東川農業の実現を目指す」とし、2024年～2030年の計画となります。

北海道神宮神饌田抜穂祭

9月4日(月)、東2号北海道神宮神饌田にて、北海道神宮神饌田抜穂祭が斎行されました。抜穂の儀では、早乙女12名によって刈り取られた稲穂は、介助役6名によって束ねられた後、耕作長である牧組合長と、耕作者の三田氏によって神前へ供えられました。刈り取られたお米は、11月23日（木・勤労感謝の日）に斎行される「新嘗祭」で北海道神宮に奉納されます。

東川大雪野球少年団によるボランティア活動

9月8日（金）、東川大雪野球少年団部員並びに父母が、JAひがしかわ ホクリツ倉庫群の視察及び、JAひがしかわ職員との交流会を行いました。交流会は、JAひがしかわ職員より、現場での作業内容や、東川米が皆様のもとへ届くまでの説明と、野球少年団部員によるJA米穀低温倉庫と東川農産物検査所の清掃が行われました。その後、新米の東川米塩むすびが提供され、部員たちは「美味しい！」と完食していました。閉会挨拶では、東川大雪野球少年団より「以前開催された全国大会は、気温が高い中の試合でしたが、JAひがしかわより寄贈頂いた大雪旭岳源水のおかげで、誰一人熱中症による体調不良を訴えることなく大会を終えることができました。今後も、良い成績を残せるよう練習を重ね頑張っていきます」と話しました。

早期発見、早期治療のために 人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。

■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2023年11月

日	月	火	水	木	金	土
			1 ×	2 ×	3 ×	4 ×
5 ×	6 ×	7 ×	8 ×	9 ×	10 ×	11 ×
12 ×	13 ×	14 ×	15 ×	16 ×	17 ×	18 ×
19 ×	20 ×	21 ×	22 ×	23 ×	24 ×	25 ×
26 ×	27 ×	28 ×	29 ×	30 ×		

2023年12月

日	月	火	水	木	金	土
					1 ×	2 ×
3 ×	4 ○	5 ×	6 ○	7 ×	8 ○	9 ×
10 ×	11 ○	12 ×	13 ○	14 ×	15 ○	16 ○
17 ×	18 ○	19 ○	20 ○	21 ○	22 ○	23 ×
24 ×	25 ○	26 ○	27 ○	28 ○	29 ○	30 ×
31 ×						

正組合員（本人・同居家族）
准組合員限定
人間ドック検診費用助成
厚生病院での一般受診料金
44,000円が
31,900円に！
※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日
予約表の見方：○10名以上の空き　△残りわずか　×予約が埋まっています
お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。
人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農指導課（TEL82-2124）まで

2023年 10月の予定

1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

2023年 11月の予定

1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6	月	

理事会の動き

第13回 理事会　日程：令和5年9月5日（火）

【議決事項】

議 案 1 号　令和５年度東川米販売方針と概算金（案）について

議 案 2 号　規程の一部変更について

議 案 3 号　労働組合からの越冬手当の要求について

農協文庫 新刊

かぞくをつなぐ
より子さんのレシピ帖

いつもの食材で体がととのう
レンチン薬膳ごはん

スパイスカレー沼にハマってみない?
毎日作り続けて気づいたもっとおいしくなるコツ

●葬儀・法要のご用命は…24 時間フリーダイヤル

JA事業推進係　0120 − 82 − 2125へ

〒071-1495　北海道上川郡東川町西町1丁目5番1号　TEL0166-82-2121　発行所/東川町農業協同組合　責任者/牧　清隆　編集者/営農販売部　営農指導課